

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

永井克昌会長 年度目標
「豊かな人間関係を創り

次の世代に続くロータリーにしよう！」

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 大附香一



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 永井 克昌
幹事 矢野 雄嗣

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第920回 例会No. 12 平成 26年9月25日(木) 晴

- ローターソング 「それこそロータリー」
- 出席報告 会員47名中30名出席
- 出席率 65.91% 出席計算人数44名
- 修正出席率 9月11日 95.35%
- ゲスト 地区国際奉仕委員長 杉浦敏夫様
- スピーカー 杉浦敏夫様



会長挨拶

永井克昌

ニコBOX

地区国際奉仕委員長 杉浦敏夫 様

本日卓話に参りました。よろしくお願いいたします。

●本日は地区国際奉仕委員長の杉浦敏夫様を卓話にお迎えしています。杉浦様、ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

永井会長、矢野幹事、岩田、若原、磯部、大附、和田、横田、安江、森田、高山、小菅、水野、後藤、川原、山崎、立石、松尾、西川、川原、松本、田中 (敬称略)

●秋の健康感謝ニコニコ Day 後藤さん以下20名

本日合計 94,000円

国際奉仕 卓話

地区国際奉仕委員長 杉浦敏夫

「私と国際奉仕」

※原稿は割愛させていただきます事をご了承ください。

以下、ガバナー月信より プロフィールとご挨拶転載

ロータリー歴

1997.4 豊田RC入会

2002-03 西三河中分区副幹事

2003-04 国際奉仕委員長

2007-08 地区会員増強委員会

2010-12 地区世界社会奉仕委員会副委員長

2010-11 会長

ベネファクター／

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー+4／

第7回米山功労者

本年度 RI テーマ「LIGHT UP ROTARY」、
強調事項「地域社会でロータリーの存在感を高めること」
「ロータリーデーの実施」と地区方針「集まろう・語ろう・楽しもう」の下、近藤ガバナーは地区ロータリーデーを11月1日～3日に決めました。当委員会も世界が集うWFFへの参画、協力は正に国際奉仕事業と捉え実施して参ります。

「世界の現状を理解し、奉仕の心で親睦と平和を！」
是非、多くの皆さんが会場にお出掛け頂き肌で世界を感じて、理解をする中で新たな国際奉仕活動をスタートさせて頂きたいと願っています。その他、世界大会や各種国際会議、海外の地区大会への参加は他の国の人々との出会いの場ですし、海外旅行にお出掛けの際は、その地域の RC の例会にバナーを持ってメーキャップにお出掛け下さい。素晴らしい出会いと感動を経験される事と思います。

大きく開かれた世界がすぐそこにあります。クラブロータリーデーを WFF で実施して頂き、僅かではありますが世界を感じて下さい。(2014年ガバナー月信7月号より)

ロータリーニュース

(ROTARY JAPAN WEB より転載)

KR “ラビ” ラビンドラン氏が

2015-16 年度RI会長ノミニーに選出されました

コロombo・ロータリークラブ(スリランカ)の会員、K.R. “ラビ” ラビンドラン氏が、指名委員会により2015-16 年度国際ロータリー会長ノミニーに選出されました。10月1日までに対抗候補者が出ない限り、ラビンドラン氏が会長ノミニーとなります。

会員増強がロータリーにおける最優先課題であると考えるラビンドラン氏は、「会員増強を図る上で、今後も若

い世代を重視するとともに、経験豊富な退職者にも入会してもらわなくてはなりません。一つの方法で、世界中の会員問題に対処することはできないという認識に立ち、地域別の会員増強計画を立てたのは適切であると思います」と述べています。

ラビンドラン氏はさらに、「アルバート・アインシュタインが『同じことを繰り返しながら、違う結果を望むことを、狂気という』と言ったように、ロータリーの従来の方法は、良い結果を生みませんでした。今回の地域別会員増強計画で、世界が22の地域に分けられ、それぞれの地域にあった計画が実行されていることをうれしく思っています」と述べました。

「ロータリーが与えてきたインパクトを人々に理解してもらえよう、ロータリアンが、特にソーシャルメディアを通じて、一貫性のあるかたちで、ロータリー・ストーリーを伝えていかなければなりません」と、ラビンドラン氏。「私たちのアイデンティティは、シンプルで、ロータリーの中核となる価値観に基づいたものであり、しかも、ロータリアン以外にも分かりやすいものでなければならぬと思います」

商学の学位を持つラビンドラン氏は、ティーバッグの製造で世界をリードする上場企業、Printcare PLCの創始者・CEO(最高経営責任者)であり、そのほかいくつかの企業や慈善信託基金の理事会メンバーを務めているほか、スリランカ最大の麻薬防止団体であるSri Lanka Anti Narcotics Associationの創立会長です。

スリランカのポリオ・プラス委員長でもあるラビンドラン氏はさらに、同国政府関係者、ユニセフ、ロータリーのメンバーから成るタスクフォースの委員長としてユニセフと協力し、同国北部を領域とする武装組織から、全国予防接種デー(NDA)中の一時停戦の約束を取り付けた実績があります。

1974年にロータリーに入会したラビンドラン氏は、これまで、国際ロータリーの理事および財務長、ロータリー財団管理委員を務めたほか、国際協議会のディスカッションリーダー、地区ガバナー、規定審議会代表議員、ゾーン研究会委員長を歴任しました。また、スリランカで津波によって破壊された25校を再建する、ロータリー地区およびクラブのプロジェクトの委員長として、15,000人の生徒たちの支援に貢献しました。ロータリー財団功労表彰状、財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞の受賞者でもあります。

バナシー夫人との間には、2人のお子さんがいらっしゃる、ご夫妻は共に、財団のメジャードナー(レベル4)です。

今年度の会長指名委員会のメンバーは以下の通りでした(敬称略)：

Eric E. Lacoste Adamson 委員長(米国)、John T. Blount(米国)、Robert K. Crabtree(ニュージーランド)、Gerson Gonçalves(ブラジル)、Frederick W. Hahn Jr.(米国)、Lynn A. Hammond(米国)、井上 暁夫(日本)、Paul Knyff(オランダ)、Peter Krön(オーストリア)、Jorma Lampén(フィンランド)、李 奎恒(韓国)、黒田 正宏(日本)、Michael D. McCullough(米国)、Donald L. Mebus(米国)、David D. Morgan(英国)、Catherine Noyer-Riveau(フラン

ス)、M.K. Panduranga Setty(インド)

ロータリーとゲイツ財団が ポリオ撲滅のパートナーシップを拡大

最高5億2,500万ドルの資金確保に向けて

リスボン、ポルトガル(2013年6月25日)：社会奉仕活動に携わる国際ロータリー(本部：米国エバンストン、会長：田中作次)とビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団はこの度、ポリオ(小児まひ)の撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新たなパートナーシップは、今後5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするというものです(対象となる寄付額は毎年3,500万ドルまで)。このパートナーシップを通じて、最高総額5億2,500万ドル(525億円)の資金を確保できる可能性があり、達成間近にあるポリオ撲滅活動の大きな後押しとなることが期待されます。

このニュースは、リスボンで開催中のロータリー国際大会にて、160カ国から2万人以上のロータリー会員が集まる中、発表されました。ゲイツ財団CEOのジェフ・レイクス氏は発表に際してビデオメッセージを寄せ、ロータリーのこれまでの貢献を称え、ともにポリオを撲滅して世界の保健衛生の新たな1ページを築こうと、参加者に呼びかけました。国際大会の会場では早くも、ナイジェリアのロータリー・クラブ会員であるエメカ・オフォールさんがポリオ撲滅のために100万ドルの寄付を誓約し、ゲイツ財団からの上乗せ対象となる最初の寄付が行われました。

ロータリーがこれまで20年以上にわたるポリオ撲滅活動で寄付した資金の総額は、12億ドル(1,200億円)に上ります。2007年からはゲイツ財団とも協力して資金確保に努めており、ゲイツ財団からの3億5,500万ドルに対して、ロータリーは2012年に2億ドルを上乗せ寄付しました。この上乗せ寄付は当初の予定よりも6カ月早く集めることができたため、その意欲を称えて、ゲイツ財団はさらに5,000万ドルを寄付しました。

寄付金はすべて、ポリオ感染国での予防接種活動のために活用されます。2013年4月の世界ワクチンサミットでは、ポリオ撲滅活動が最終局面にあるとして、6年間にわたる包括的な撲滅計画が打ち立てられましたが、2018年までの活動資金としてまだ15億ドルが不足しています。ロータリーのポリオ撲滅活動を率いるジョン・ジャーム氏(ロータリー元副会長)も、今こそ最後の一押しでポリオ撲滅の仕事を終える重要性を訴えます。「私たちには強力な活動プランがあり、すべての子どもたちに予防接種を提供する手段を持っています。あとは資金不足を埋められれば、ポリオという恐ろしい病を撲滅できるはずです。ロータリーとパートナー団体は、ポリオのない世界を実現するまで、活動に全力を尽くします」

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
◎10月9日(木)第922回例会 「クラブフォーラム」
◎10月16日(木)第923回例会 「会員卓話」
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆